

カリキュラム・ツリー

1年次

2年次

3年次

4年次

5年次

6年次

カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を修得するために、以下のように教育課程を編成しています。学修成果の評価は、アセスメント・ポリシーに従って行います。科目レベルでは筆記試験の他に各種課題の提出、発表、実演などを用いて評価（一部でルーブリックを使用）を行います。

1. 大学教育への導入を行う

薬学科における学びへとスムーズに移行できるように入門科目を配置すると共に、入学早期から薬学の基礎知識を身につけるための基礎科目と演習科目を配置します。

2. 医療人としての倫理観を養う

医療人を目指す心構えと共に豊かな人間性を育むための教養科目。また医療人としての責任感と態度を醸成するために体験学習あるいはグループ討論等を取り入れた医療倫理関連科目を配置します。

3. コミュニケーション能力を養う

医療人に欠かせないコミュニケーション能力を醸成するために、調査学習、発表、ロールプレイ等を多く取り入れ、能動的に学習する科目を各学年に配置します。

4. 基礎的な科学の知識と技能を学ぶ

医薬品を含む化学物質の性質及び生体のしくみを科学的に理解し、薬物や病原体の適切な取扱いができるよう、薬学に関する広範な知識と技能を修得するために必要な基礎及び実習科目を配置します。

5. 薬物療法を学ぶ

薬の情報提供を適切に行い、患者から得られる情報を基にその治療効果・副作用の発現等を判断するために必要な薬物治療における専門的な知識、及び医薬品情報の活用やフィジカルアセスメント等に必要となる技能、態度を修得するための講義及び実習科目を配置します。

6. 地域医療を学ぶ

薬剤師の専門性を発揮し、多職種と連携して積極的にチーム医療に貢献できる人材を養成するために、他学部との学生と共に学ぶ科目を提供します。また、地域住民の疾病予防、健康増進と福祉向上のため、地域医療及び災害医療を学ぶ科目を配置します。

7. 臨床薬学を学ぶ

2つの附属病院を含む医療現場で活躍している医師、薬剤師、その他の医療従事者から指導を受けることによる、臨床薬学を重視した実践的な学びを提供します。これには5年次における5カ月間の臨床実習も含まれます。

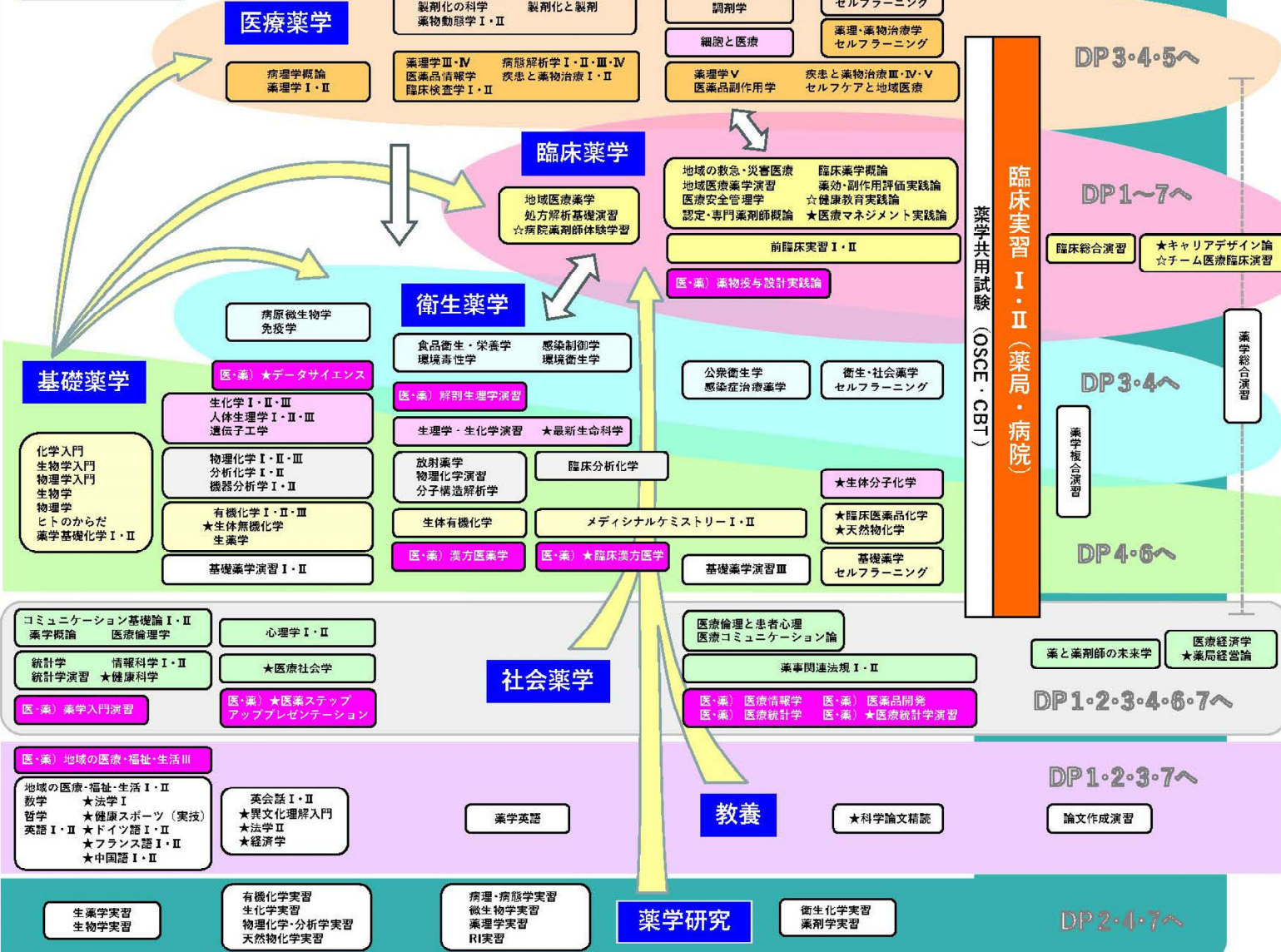
8. 先端的医療・科学技術を学ぶ

医療人として活躍するために必要な先端的医療技術やICT関連技術等を理解し、法令・規範に従って適正に活用するための科目を配置します。

9. 自己研鑽能力を高める

問題発見・解決能力及びリーダーとしての資質を培うために、問題基礎型学習、双方向教育、グループ討論、発表等、自ら主体的、能動的に取り組む科目を配し、自己研鑽を続ける習慣と態度を醸成します。また、卒業研究の過程を通じて研究マインドを高め、生涯にわたる自身の能力開発に向き合う姿勢を育みます。

【医・薬】は医薬連携科目



卒業研究

DP3・4・5へ

DP1~7へ

DP3・4へ

DP4・6へ

DP1・2・3・4・6・7へ

DP1・2・3・7へ

DP2・4・7へ

臨床実習Ⅰ・Ⅱ(薬局・病院)
薬学共用試験(OSCE・CBT)

ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

教育理念と教育研究上の目的に基づき、以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学位(学士(薬学))を授与します。

1. 医療人としての心構え

医療人として豊かな教養と人間性を備え、常に相手を思いやり添う姿勢を忘れず、地域に暮らす人たちの命と健康を守る使命感と責任感及び倫理観を身につけている。

2. コミュニケーション能力

患者とその家族、地域住民、医療・福祉関係者と良好なコミュニケーションをとり、相手の意見を尊重しつつ、その意思決定をサポートできる資質を備えている。

3. 地域社会への貢献

医療人として地域で果たすべき役割を理解し、高齢化社会に対応した地域住民の疾病予防、健康増進及び福祉向上への取り組みに積極的に参画する能力を有している。

4. 科学的思考力

医薬品、化学物質、病原体その他生体に作用する物質について探求・理解し、これらを活用して医療及び公衆衛生に関する様々な課題に対し自ら対応できる能力を有している。

5. 薬物療法における実践能力

患者の病態に応じて有効かつ安全な総合的薬物療法を提供するために必要な専門的知識及び臨床的技能を身につけている。

6. 新たな情報・科学技術への対応

次世代の医療を支える様々な情報・科学技術に関する知識を積極的に取り込み、倫理規範や法令を遵守し活用する姿勢・能力を有している。

7. 学び続ける姿勢

科学・医療の進歩の恩恵を常に患者及び生活者に提供できるよう、生涯にわたって高い学習意欲を持ち、自己研鑽を続けることができる。

地域の医療・保健
薬剤師国家試験